

# J A 新潟厚生連

## 自己改革に対する基本的考え方

3つの基本目標（農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化）を実現していくために、「暮らしを支える事業活動」を中心に取り組んでいます。

とくにJA組合員や地域住民に対する健康管理活動、疾病予防活動を実践して「健康寿命100歳プロジェクト」の推進に尽力しています。

また、地域の活性化へ貢献するため、地域に必要とされる医療と介護を提供し、地域包括ケアシステムの構築、地域連携の強化等への対応を進めていきます。

## 平成29年度の取り組み

### ①地域医療の充実

地域連携強化のため、福祉連携センターの機能見直しを行い地域連携支援部として体制を改変することとしました。これにより、これまで以上の地域連携の構築と地域医療の充実に取り組みました。

### ②健康寿命の延伸と生活の質的向上に向けた健康づくり

巡回健診や人間ドック等を実施してJA組合員及び地域住民の健康管理に努めました。

【検診車での巡回検診】



【健診センターでの人間ドック】



### ③高齢者を支える地域づくり

介護が必要になっても安心して生活が継続できるように、医療と介護の切れ目のない提供に取り組みました。



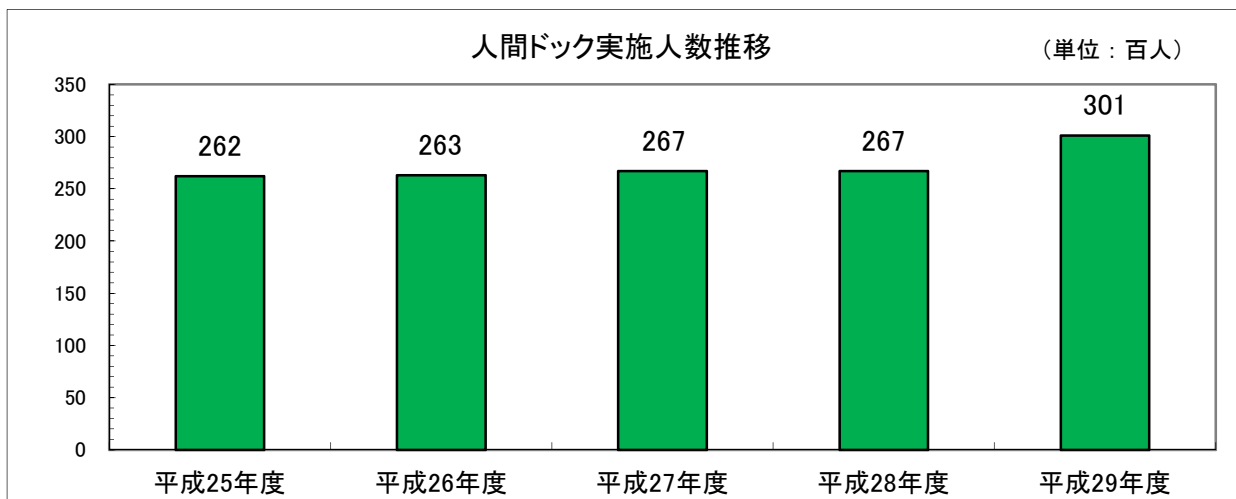
【通所リハビリテーション】

理学療法士等によるリハビリテーションを実施して、身体機能の維持・向上に取り組めます。

## 平成 29 年度の実績

### (1) 人間ドック実施人数（過去 5 年間の推移）

健康管理意識の高まりによる受診者ニーズに応えるため、積極的な健康管理活動を展開しています。



### (2) 各種がん検診実施人数（平成 29 年度実績）

巡回健診時にもがん検診を実施する等、がん検診の受診機会の確保に取り組みました。

(単位：人)

| 胃がん検診  | 肺がん検診  | 大腸がん検診 | 子宮がん検診 | 乳がん検診  |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 51,493 | 60,723 | 60,979 | 19,058 | 20,706 |

## 自己改革完遂に向けた取り組み

第 37 回大会の最終年度を迎え、これまでの取り組みを継続しながら J A 組合員をはじめとした地域住民の多様化する医療・保健・福祉のニーズに対応していきます。

また、地域における病床の機能分化及び連携を推進し、住み慣れた地域で生活が継続できるように適切で質の高い医療・介護サービスの提供に努めて、J A 組合員や地域住民の暮らしを支える事業活動に取り組んでいきます。